

## <香川県内の経済動向> (平成 29 年 8 月 15 日作成)

**現在の景気**：緩やかな回復を続けている。

**3 か月程度の見通し**：緩やかな回復へ向けた動きが続くと考えられる。

**個人消費**：基調的には持ち直している。

6月の百貨店・スーパー販売（速報値）は、前年比 2.4%減と 7 カ月連続で減少。店調後は前年比 2.0%減と 2 カ月連続で減少。6月のコンビニエンスストア販売（速報値）は、前年比（店調前） 1.3%増と 4 カ月連続で増加。6月の専門量販店販売（速報値）は、家電大型専門店が前年比（店調前） 6.4%減と 3 カ月ぶりに減少、ドラッグストアが同 6.5%増と 27 カ月連続で増加、ホームセンターが同 0.6%増と 5 カ月ぶりに増加。6月の乗用車新車販売は、普通乗用車で前年比 16.5%増、小型乗用車で同 22.5%増、軽乗用車で同 14.8%と増加し、全体では前年比 17.4%増と 8 カ月連続で増加。

**住宅建築**：このところ弱さがみられるものの、

6月の住宅着工戸数は、持家で前年比 6.1%減、分譲住宅で同 7.0%と減少したものの、貸家で同 20.9%と増加し、全体では前年比 4.5%増と 3 カ月連続で増加。

**設備投資**：底堅く推移。

「全国企業短期経済観測調査結果（2017 年 6 月）-香川県-」における 2017 年度のソフトウェア・研究開発を含む設備投資額（除く土地投資）は、全産業で前年度比 24.2%増加見込み。

**公共工事**：振れを伴いつつも高水準で推移。

6月の公共工事請負額は、市町で前年比 46.8%と増加したものの、国・独立行政法人等で同 37.9%減、県で同 42.9%と減少し、全体では前年比 9.5%減と 3 カ月連続で減少。4～6月の年度累計では前年比 46.9%減少。

**輸出**：底堅く推移。

6月の県内通関輸出額は、主要品目である船舶で前年比 86.9%減となり、全体では前年比 67.5%減と 3 カ月ぶりに減少。1～6月の累計では前年比 5.3%減少。

**生産活動**：振れを伴いつつも緩やかな持ち直しの動きがみられる。

5月の鉱工業生産指数（季調済）は、前月比 11.6%低下し、91.7 と 2 カ月ぶりに低下。原指数は、前年比 10.4%低下し 90.1 と 2 カ月ぶりに低下。はん用・生産用機械工業（貯蔵槽、ころ軸受）、化学・石油石炭製品工業（医薬品）などで低下。電気機械工業（半導体集積回路・混成集積回路）、窯業・土石製品工業（特殊炭素製品・護岸用コンクリートブロック）などで上昇。

**観光**：堅調に推移。

6月の県内テーマパークを含めた主要観光地の入込客数は、前年比 20.6%増と 4 カ月連続で増加。1～6月の累計では前年比 8.7%増加。

**雇用情勢：好調に推移。**

6月の有効求人倍率（季調済）は、前月比0.01ポイント上昇の1.78倍。新規求人数（原数値）は、卸売業・小売業、運輸業・郵便業等で増加し、全体では前年比5.8%増と3カ月連続で増加。

**（トピックス）**

○四国運輸局が7月12日に発表した2016年度の香川県内観光地の入り込み状況によると、主要15カ所を訪れた観光客は前年度比0.7%増の475万4,367人台で2年連続の増加となり、過去5年間で最も高い水準だった。瀬戸内国際芸術祭の開催や「逆打ち」遍路といったイベント効果に加え、高松空港の国際線増便などによる外国人観光客の大幅増が主な要因となった。また、観光庁の統計によると、2016年の県内の外国人延べ宿泊者数（確定値）は前年比70.3%増の35万8,360人。伸び率は全国トップで、同局は「県内の入り込み数の増加傾向にはインバウンドが大きく寄与している。17年度も引き続き外国人客の増加が期待できるだろう」とみている。

項目	変化方向			評 価				
	好転	不変	悪化	晴	晴一部曇	曇	曇一部雨	雨
現在の景気	○	●	○	○	○	●	○	○
3か月程度の見通し	○	●	○					
個人消費	○	●	○	○	○	●	○	○
住宅建築	○	●	○	○	●	○	○	○
設備投資	○	●	○	○	○	●	○	○
公共工事	○	●	○	○	●	○	○	○
輸出	○	●	○	○	○	○	●	○
生産活動	○	●	○	○	○	○	●	○
観光	○	●	○	○	○	●	○	○
雇用情勢	○	●	○	○	●	○	○	○
企業収益	○	●	○					
企業倒産	○	●	○					
資金需要	○	●	○					